心を寄せて、 この建設展に、

わが社では、

拡がり、

高松、

として、新潟、

名古屋、

# 装いを変えて全国各地の建設展に

らいはありますが、

で実演しながら、

しても、

多いものですから、

列しきれないので、

社の製品は、

に比べて、

れております。

異彩を放っ

好評を博しました。 50型スロープタンパーの 真のように強固なパイプ 年に当りますので、 実演をし、 土手を築いてMDR=S 堀って実演致しました。 モダンなクリーム色でテ 柱により、 の梁六本と前後四本の支 モデルチェンジして、 の三笠カラーでお馴染深 前に25度の勾配をつけた 度新製品の内からMD に致しました。 トロン張りしたキャビン ところ数年間、 また東京展では、展示場 =T38型トレンチローラ 展示場を、 ご高承のように、わが を弊社展示場前に溝を 札幌展では、 何れも多大の 屋根ぐるみ、 札幌展から フッド 四十八年 写

んになって行くことは、 この祭典が、年々斉々盛 にご同慶に堪えません。 会員の一人としてまこと 品発表の場ともいうべき の粋を集めた所謂、新製 主催で建設機械の展示会 時も設営には苦労させら たいという念願から、 多く三笠製品を見て頂き ユーザーさんに一台でも いて、スッキリしないき も少々ゴチャゴチャして のものでないと充分に陳 日本建設機械化協会の 本年は、本紙創刊十周 お膝元の東京を基点 このような形式 わが国建設機械 福岡と全国に 非常に機種が 東京と地方 大阪、 他メー 多大の関 最初から どう 何時 カー

発行所 東京都千代田区 猿楽町1-4-3

22号 2~4607 ス番 年4回発行

た。に、、

年から展示会が開催されて、これの日本一十四年ということですが、その日本には一般の単立は、昭 洲へ移ったのが昭和二十七年五月|年の日比谷展ですが、出品してある 弊社が昭和二十五年に芝の田村町か 思われます。 いものがあります。おそらくこの中 建設展であったら、その意義は半減らかは知る由もありません。しかし は、昭和三十年頃からではないかと ているのですから、まことに感慨深 ので、只単に製品を展示するだけの ら銀座へ出て、やがて銀座から八重 それから本格的にバイブレー いう感じが致します。

欣然参加してまいりまし

と大分生産面では進んでいたようで

凡そメー

カーである限り、

新製品

号ですということで、

お買上げし

建設機械展への参加は、時期尚早と 類は、今のものとは全く比較になら あって、ら、当時の四囲の状況から判断して す。この写真にあるパイブレーター の開発にっと取組むことになった の で す か と大分生産面では進んでいたようで 「凡そメ 下掲(1)の展示会写真は昭和三十一

して、

その実演を公

「開するためのも

する唯一のねらい

わが社がこ

の建設展に出品

の開発に取組むことは当然のことで

ターものと当時の型録とを比べて見ます 機械展へ出品するように なっ たの 後改良されて、今も盛んに使用され おそらく建設 ないほど初歩的な製品ですが、その に今も有るサンダーやテラゾー にも出し、

僅か四、五年の間に姿を消したもの ところが、この時代に一応展示会 ご希望しているもの品されていたものと思われます。 元来メーカーは、 があります。それは戦前から作って るものも数少なくありません。今そ れたものの中で、 仕上機などです。 いた岩面搔破機を始めとして、 プクリーナー、 ピストル型枠打振動機、 コンクリー 型録にも掲載したもので ト穴明機(ジャンパ 現在姿を消して またその後開発さ シャッター 円盤鏝ないものは、 ・ンパ 価格が馬鹿高かった 捲揚 能率的なものであろ チュ す。 仕事でもあると思 かっている以上、どんなに便利で、し、メーカーといえども、生活がか 差上げるのが建前で するものと思います

り、 うとも、

れを年代順に挙げて見ますと、33年|になれそうなものを開発しようと日 38年のパワートロウエル、12型ら、遊んで暮せると から、 るような、 夜苦労しておるわけ せるようなものがや くも出来ないのは甚 は、常に多数ユーザ 昔から一生に一度、 そこで、 そうそう世の 採算上 当る商品を開発出来た 吾々 言った位いです だ遺憾なことで です。 たらに生れて来 中をビックリ お引きうけした メーカーとして ーさんのお使い アッといわせ

るとは思っておりません。

来てから、

十一号になって

います。今その一

現在、

らしいものが多くあります。

10型ランマー等吾々の記憶に新

ローラー、

10 型インパクトローラ

ンベヤー、

36年の4型(大型)コンパクタ

中型(搭乘型)路面仕上

開発した、フレキシブルベルトコ

一頁を繰って行きますと、どの 弊社の綜合型録は八重洲へ 毎年一回定期に発行して 

たがける三笠の展内で開催された建一

関係上、その当時の綜合型録を見ま 古いということをしみじみと痛感さ グラインダーを専門に製作していた 面バイブレーターの載っているの と、その中に極めて旧タイプの内 ターの三笠の歴史は トバイブレーターと フレキシブル セメントがな 専ら航空機 ターでも

ばりバイブレー

今更の如く驚くと同時に、

部用コンクリー

ことがよくわかります。

戦前から弊社では、

時代にどんな機械が生れたかという

せられます。

戦争になってから、

に、技術陣が創意工 場で作業をしておら アドバイスして頂く 作品を作り上げて、 んからヒントを頂 ーさんに使って頂 開発といっても 仲々むづかし しているように思くというケースが ので、実際に現 それを再びユー 夫をこらし、 て、それ れるユーザー 独創的なもの を基

初のうちは、専らバイブレーターだ

います。

それですから、

展示会も最

フトと取組んで来たお蔭だと思って なったのも、永年フレキシブルシャ イブレーターが陽の目を見るように

して、それでなくても最初から機種

げたかったのですが

と、未完成品のように思われて、

の多いところへ、これ等の新製品が

ドッと加わったので、

時はこれをくて当り前というな

考えでお使い

で

なるので、

余り細

ランマーが出

現し、ローラーが登場

下さい、

代金は要り

とはなしに、コンパクターが生れ、を出品しておりました。それが何時 平面用と仕上用とテーブル用のもの エンジンを使った内部と外部の他に けで、ミカサ特殊モーターとミカサ

で、買って頂くこと

ザーさんに、

新製品

来なら試作品です

が、大変ご贔屓にな

一番合理的で成功

から、使って見てとにしました。本 が出来上ったの っている或ユー ませんと申し上 大分古い話です いことを仰しゃ 試作品となる 1014年,农民对中汉

あるまいということで、

フレ

くなって、

今更バイブレ

りいたので、すっかり忘れ返えってキシブルグラインダーを作ってばか エンジンの内面研磨用として、

いたところ、戦後の復興工事で、バ

まして、 更に一層のご支援を賜わらば、 すので、 出来上った製品を売付けて、試験台 としても、 らなくてはならない義務がございま 申し上げましたように、 にするとは、けしからんとお叱りを 製品開発のヒントを貰らいその上、 をするとメーカーは、ユーザー スは起らないものです。こんなお話 汚点がつく、 返品にでもなったら折角の新製品 なものにしてお納めしないと、 に過ぎたる喜こびはございませ ユーザーさんのお希望のものをつく うけるかも知れませんが、前文でも 期してかかるので、絶対に大きなミ その点を篤とご賢察下さ のご支援を賜わらば、これわが国建設業界発展のため 買って頂くからは、 ということから慎重を メーカーは 完壁 から 万

えども、生活がかっています。 しか であり、又それがのを、速に造って 需要量の少 一台の 3 à

とにもなるわけです。

所するためのも れることも多く、又自信を深めるこ新製品を発表 批判をして頂けるので、大変教えらの建設展に出品 だからということで、実に厳しいごは当然のことで て頂くと、買った以上、自分のもの 一方メーカー

(八月下旬)

及びオペレーターの操作位置等に就た。但し、スロッパー全体のモデル造のご意見なく大好評を 博しま し

の操作位置等に就

意に変えられ、

土質、

形状に合せ

る。振動も、

振動も、走行速度も、0から任油圧機構独特の無段階変速であ

いて若干のご希望意見がありました

輾圧や走行ができて容易な作業が

(ハンドル含む)

柔い斜面等を輾

型

全 長

"

重構造である。

全 巾 全 高 ローラ径×巾 輾圧盤長サ×巾

振動数 最大遠心力

全全人のおります。

エンジン 定格出力

最大出力 燃 料

燃料タ重量量

料

量量

(乾燥)

三笠バイブレーター

走行速度 最大作業時勾配

り、ロール間に ロールについた 圧すると泥等が

M

G

型

2

極

ター

過去の使用実績、

並びに技術改善の

|較しまして一段と強力になり、イ

そこでこの度、

ュースの創刊

日まで、

三笠産業ニ

続いて、京谷社

京谷社長か

ら「本紙が今

社長の発声で万才を三唱、吉田常務

予定

十周年を祝ら

っている次第です。

る。これを防止 はさまったりす

新錐振型バイブレ

フリー

ヤ 1

使用)

型バイブレー

として面目を一

バーティが、 式典並に祝賀

ブリングで引張

ルには最初にス するため、ロ

よけがあり、

種々検討した結果次の様に一一える。

# R-S50型・ス

愛称スロッパー

を用い、 8型パイルハンマーと同様な振動機 らに加速し、 大変便利である。 蔵した加速シリンダー 本機から離れて操作できるので 輾圧装置は当社独自のMOH= を上

輾圧盤の地面に対する打撃をさ また強力なスプリングを内 有効な輾圧を行わせる 部に設 + る。

本機の上部についている調整レ

ー用の座席がつけてあり、 作業にも快適である。 パワー ユニットにはオペレ

ようになっている。

紹介させていただきます。 演機種と同じものです。 造はございませんので性能は展示実 になりました。 部を手直し、 次に仕様及び改良点とその特長を 愈々近く発売すること|に回動するので、 従って、 技術的な改

本で、

構となっているので、 操作が 簡 単一、走行および輾圧はすべて油圧機 場所をとらず便利である。 意の位置に調整できる。 に折曲げておくことが出来、 使用しない時は、

弊社では、永らくモー

逆転防止装置

尚振動の始動性を改善しましたか

の建設機械も最早や世界の水準

社主、朝川印刷社㈱社県・州出張所長、永井デザノイ谷社長より、岡田三笠地

谷社長より、

社主

に達しているものと感じて、

は見当らなかった。この点日本機械には、特に目新らしいもの

堅牢になりました。 ブレードされていますので、 更にフレキシブルホースは三重に

ター式錐振

なくなります。

路の複雑な配線がなくなり、

簡素

していたモーターも、

逆転防止回

化されてこの回路上のトラブルも

線の心配がなくなりました。

しても支障ありません。

従って結

たもの

野営業部長の司会の下に、

一時賑やかに開幕した。

とは言え総勢凡そ百五十名、

の従業員も加わって、

の方々も出席され、

また、このパイプレーターに使用

小林館林工場長と、

3

| でく、保守点検が容易である。 をでく、保守点検が容易である。 になっているので故障が発生しにく 振動系と別々のシンプルな油圧回路 使用であれば取りはずしが容易であ パワーユニットは、 走行系と、 を取付けておりましたが、このたび 型バイブレーターに、

長時間の シャフトに就いて、多年にわたり研これに使用されているフレキシブル 究を続けた結果、 フトの完成を見るに至りました。 置は不要となり、

何等変ることなく寧ろ理想的な錐振 に依り今迄使用していた逆転防止装 そこでこのフリーシャフトの完成 正逆両用に使えるフリーシャの対に結果、特殊な捲線方法に しかも、 ●これ等バイブレーター に高振動を発生します。 を発生しないことは御承知のこと ら、原動機が回転するや否や直ち 入防止性能が向上されました。 改善により、 し振動室へ油分が入りこめば振動

振動室への油分の浸

内部構造の

変意を強くした。

いま仮りに、

謝状が、

三笠製品をこの展示会場へ出品

少しも見劣りす

年本紙の編集に協力 勤続者に表彰状が授

記念品

の一端を覗かせていた。 るものではないという自信を深

社歌を合唱し、

ここで、 八名にも、 MABURY

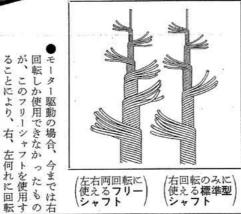
オペレーターの任 で急坂でも作業 の位置が高いの ド及びハンドル 実な締め固めが まうように定め に泥等をさけ 設置され、二 可能な泥よけが らに内部に調整 に接している泥 られ常にロー 化などかみこま 盤形状も異物、 いる。また輾圧 ルは締付レバ 操作用ハン ロープガイ 輾圧して 本機方向

てあるので、

MVI-GM型(新錐振型2P

きる。





左右両回転に 使える**フリー** シャフト

業界紙各社のお歴々を始め、

大広間の式場には、

右回転のみに 使える**標準型** シャフト

三笠産業ニュース

# 創刊10周年記念 祝賀会の記

として発売することになりまし し、名称を新錐振型バイブレー

改良された点を左に掲げます。

きは美し 椿山荘楠の間 芽立ちもひと ような、木の に、こんな緑 東京のど真中 に於て催され 地帯があると この七階 信じ難い

して邁進したい」



ご祝詞を頂戴した。 菱銀行三崎町支店長上 続いて、 引続き式典は、表彰 来賓を代表 衣して、 りご鄭重なる 式に移り、京 小松三

しかし、出品されている個々のには目を見張るものがあった。

あって、その規模の壮大なこと

又本社及春日部工場の永年 すされた。尚永 起立して、三笠 した編集部員等 建設機械㈱九 渡された。 設産業新聞社 長の三氏へ感 インスタジオ 気持を抱いて、静かに退場して行か 挨拶を最後に、何れも名残り惜し だところで、平戸経理部長の閉宴の を告げる力のこもった手締めが済ん やがて、加藤桜電機㈱社長の終幕

パーティ風景

歴された。

で万歳高唱を対ける 々長の音頭)

この十周年を一と区切 裏一体となって、的確 より常に、技術と密着 車としての役割を背負って来たが、 の開発と、その販売に、 売れる製品造りに 皆さんの絶大なるご支援に と決意のほどを披 確な情報に基 層し、販売と表 アイトを燃や りとして再出 通り式典を終了した。 の閉会の言葉により午後二時、 小憩後、

徹した新製品 を移して、愈々本日のメーンエベン 絶えず牽引 ト祝賀パーティに入った。再び京谷 変って行った。一同十年前の落成式を 長の音頭で乾杯、早やくも、場内はな 投資パーティの和やかなざわめきとと 接の音頭で乾杯、関やくも、場内はないで、遠藤館林信用金庫理事 社長の、すっかりくだけた開宴の挨 近頃にない打解けた、 杯ならぬコップを交し合う光景は、 模擬店に寄ったり、次々と、思い思 当時の思い出など語り合いながら、 ィであった。 のテーブルを廻り歩いたりして、 ここから八階欅の間に席 和やかなパ

(ハンドル含まず)

本機の仕様

1625mm 765mm 1100mm  $352\phi \times 600$ mm 600×240mm 0~130v.p.m

1300kg 0~0.6km/h (前後進共) 約45°

S50型スロープタンパーは、館林工 た昭和四十八年度の新製品MDR-

|三笠産業ニュース記念号に発表し|パーを回動させ、

く試運転され、又東北高速道路那須|を調整することができる。場の仮設作業所で技術的に幾度とな|わせた輾圧のリズムが得ら

館林工

わせた輾圧のリズムが得られ、振巾降させる。そのため土質、性状にあ

いている目盛に合せて、

輾圧盤を昇

クランク部横につ

北工区現場で実地作業試験を経て、

同

はなれ、ロールのみの裏ELテートにたおせば、全く輾圧盤は地上からにたおせば、全く輾圧盤は地上から

斜面等の初期輾圧に便利であれ、ロールのみの輾圧も行える

MDR-S50

2340mm

またこの調整レバーを18度反対側

一行に実演説明会を実施してご批判時に弊社の東部地区代理店さんのご 東京建設機械展示会に出品され、

ので、

を仰ぎました所、

技術的には何等改

四 る。

パワーユニットの仕様

560kg 1460mm 935mm 910mm 120 ℓ タービン油#90 EY21AS—R 10PS/1500r.p.m 15PS/1800r.p.m

自動車用ガソリン 約13 €

325kg 449kg

(オイル、燃料含む)

へれて全面的に

能及び装いも新に改良されて発売さ力(四○○W)特殊モーターが、性 準型バイブレ れることになりました。 長年に亘り御愛顧を賜りました標

Ⅰ =28型~45型の内部振動機用 このモーターは、 ター用のSM型児馬 御存知の通りM

原動機として活躍してきた、 の主要原動機の|で以上に大きくしました。 わば 0 モデルチェンジを断行しました。 部にも改良を加えて、 低下を防ぎ、コンミ まず出力を上げて、 ここに改良の一端を紹介します。

し、その間、ご使用者各位からのあるような心配がなくなりました。そに送り出してから二十数 年を 経過 げ、ひんばんな着脱にも軸を損傷すモーターをバイブレーターと共に世 軸の先端部を焼入して、 硬 度 を上ひとつであります。弊社がこの特殊 更にバイブレーターをつなぐ駆動ひとつであります。弊社がこの特殊 更にバイブレーターをつなぐ駆動 たたかいご教示と吾々の研究とによの他スイッチ等にも改良を加え、 り幾度となく改良を加えて今日に至|久性の向上をはかりました。 行っても心配なく冷却効果をいまま 大きくし、それに伴い冷却用の通風 従いまして、 これまでの必型に比 ュテーター部を 長時間運転を 作業時回転の 耐

(向って右が装いも新に登場した新型モーター、左は従来のモーター

て頂けるものと確信しております。 事に従来にも増した充分活躍をさせ ますのでこれからのコンクリート工 ハンドリングにと留意してあり

一笠特殊モ

夕 「

ンジン搭載型)、

M C D II

型(軽

1=MB型(電蔵式)

(モーター

インヘッド)

0

各詰員も久方振りに

ハンドバイブ

行なわれ一段と活況を呈した。

今回の展示会は期間中晴天に恵ま

多数の方々にご覧戴けた事で、

無事閉じた。

張りあい

のある

営業部都内課

**荻本記** 

隆盛に微力を捧ぐる覚悟であると

社員を代表して伊藤隆夫君が三笠 入社員の紹介があって最後に新入

社則を守り、

意専心、

会社の

新入社員の前途を祝し合っ 全員で三笠産業の社歌を合唱し、潑剌とした契いの言葉を述べて、

た。

ブタンパーの説明に

友好裡に午後一 真による詳しい 道路に於ける現場試 た。続いて、

幹部社員の紹介、

店会の新製品発表実演会が同会場で

コンクリートカッター、MV

イプロコンパクター

(溝輾圧機)、

MVC=90F型べ

(四サイクルエ

からお褒めのお言葉を頂戴した。

展示会初日には三笠東部地区代理

種の展示には数多くの参観者の皆様

ーズ化と改良が進められた豊富な機

油圧式パイルハンマー

新五機種を発表して多大な喝采を博

中でも特に今まで開発の

場者を集め、凡そ百社に近い出品メ

から多くの新しい建設機械が

対する追求がはっきりと、

来た展示会であったと思う。

このときにあたり我が三笠産業で

型スロープタンパー

(愛称スロッパ

MDR = T38 トレンチローラ

四十八年度新製品、

M D R S

を呼

U.

更にコンクリー

カッ

シリ

に馴染まれ、

仕事を覚え、

の社則第一章総則の一

諸君は、

った錐振型の見本機を出品して人気

らの観覧者も加えて、約七万人の入|め騒音、振動に対する公害研究が進|ローラーと三笠輾圧機部門は近年に

方、工事を行う環境を良好に保つた

小型化の方向が求められる一

建設機械も大型化する中

自動化が強く一共に六カ月保証書付で有名になった

追われた程であった。

以上の新製品を前面に押し出すと

演場では詰員が休む間もなく実演に

国内はもとより遠く海外からの参加

者も姿を見せ成功裡に八日間の幕を

人気を呼んだ三笠の展示場風景が製品スロッパーの実演に爆発的

展示小間前に特設された実

70 80型型 255型型 型

200 120型のコンパクター 52

五機種の外、セブンローラー、11

型 0 型 施工法の合理化、 の事業の伸びによる る建設投資に伴うこ を超えるとも

められており、建設機械の安全性にない充実振りであった。それにバイ

現われて ブレーター部門でも、

近く発売する シャフトを使

正逆両用回転のフリー

間全国各地はもとより、

世界各国か

機械展示会が五月二十五日より八日

にも、

恒例の東京晴海埠頭に於ける建設|要求され、

東京都晴海埠頭前広場 日本建設機械化協会 五月二十五日~六月一日

(八日間)

主催

# 設

械

高騰景気の最中に|アップを最高目的としたスピード豊

軽快で小回日(金)より五月七日(月)までの十八

展示小間を設けて、

ランマー・コン

第 東 +

我が社では四号館の中央入口脇に

第十回東京国際見本市は四月二十

それに大日間、

東京・晴海の国際見本市会場

主会催期 日本建設機械化協会北海道支部四月二十日~二十五日(六日間 (六日間

それぞれの現場で

濃部都知事などの挨拶に続いて、 十時三十分から開会式が行われ、

参

美品MTR=55型タンピングランマ

レーターを展示した。このうち新製 リオと標準型および錐振型のバイブ パクター・振動ローラーの輾圧機ト

華やかな盛りあがりのうちに式を終

向けたことにより、

取付けて、これの吐出口を下の方に は音を低減するよう大型の消音器を

い配慮が払われており、

作業者への細か

分までレセプションが

特に外人バイヤーの注記門では、只一社の三笠般産業機械の並ぶ中に

引続き十二

加各国の国旗掲揚、鼓笛隊の行進と

日本建設機械化協会北海道支部主|るとお客さん同志の混乱がさけられ 札幌市南区川沿町五輪大橋下

天に恵まれた20日から25日までの6 機械大小七百点が公開された。 た会場には、 た真駒内のスケート場をバックに 上流で開催された。北海道での開催 位置し、 催による恒例の建設機械展示会が好 通算十二回目で丁度一ダースに当|華やかさをかもし出 冬期五輪で世界的に脚光をあび 札幌市南区川沿町の五輪大橋 出品社(60社)自慢の

日本列島改造計 械の伸長は目を見張るものがある。 活況に支えられて、 公共投資の伸び、 画による 北海道の建設機 民間設備投資の 再配 クリ

が極めて少なく、冬期といえども管 笠の小間には立ちよってくれた。 さまれていたが、 であった。左右を重機メー られた機械は正に威風堂々たるもの 来られた機械担当者の方々は長時間 落着かぬ心忙しい中の展示会であっ の異常なまでの機械類の高騰に直面 業者が活動を開始するので、折から 参観者も素通りする人はなく必ず三 は前回より幾分少なかった様に思え は大型機に一歩も譲らぬ風格があり している吾々としては、 工事関係は盛んに工事を進めて ことしの北海道は例年に比べて そんな影響もあってか、来場者 まして四月ともなると一 その代り各社を代表して見に一言葉を頂 何んとなく

業界初の保証付ランマー、 トバイブレー 展示供覧されて賑々 をはじ 能率 れていた斜面輾圧機分野に於て、 信する次第である。 ーは自然と認識してくれるものと確 と営業的な誠意で対抗すればユー

札幌出張所

佐潟報

そ|展示会となった。

は遠来のお客様で大変賑わったとなった。中でも二十七日

**E** 

石 められるご熱心さに、我々詰員も心 にわたって見学され、

型プロジェクトが盛沢山である。一港、北海道新幹線、縦貫道路等の大 小樽市三者共管による石狩湾 釧路新 来た。 め、 コンクリー 行くまでご説明申し上げることが出 世界中で定評のある、三笠の各種

強く説明を求

中でもセブンローラー

や11

型口

出ていたが、これも技術的な優秀性 ラーに関してライバル機械が数多く くなった。

眼点が秀れているというお賞めの

いて我々の自信も更に大き

新港建設、 狩町、

根室新酪農村、

苫小牧東部

東京建設機

械

しく開催された。

本年は二十四兆円

パーの実演には、

連日場内の人気が

た。かくして昭和四十八年度の東京

建設機械展示会は極めて密度も濃く

びに女子高校卒

の決定版ともいうべきスロープタン

いわ

集中、

ないと思えるほど要求が殺到して 三笠の小間は丁度会場の中心点に ム色の天幕が けに会場も異様な熱 のフダが次々と下っ 気が漂っていた。 製品はそんな事をす ていたが、 行なわれた展示会だ わが社の小型機械 ーカーには売約済 整然と並べ 我が社の カーには 斉に全 他 を採用したパイルハンマーと、 カッター、 判の11型ローラー、側溝輾圧仕上の 洗われていた会場八号館前で、午前型ローラーにも負けない輾圧力で評 に於て開催された。朝がたまで雨に り抜群のセブンローラー、 使い分け出来る三種のコンクリー レンチローラー、 効率アップを狙ら本年度新製品のト かな各種コンパクター、 (0)と際会場を賑わす三笠の展示場 更に三笠独自の油圧方式



4月20日 5月 7日 18日間 東京都晴海埠頭前広場

催された。 会期の前半は交通関

は百四十万人を上廻る 参加国は前回

れまでは"売らんかな" 活環境の向上への協力 内企業も、公害防止、生 の姿勢が感じられた国 見せていた。とかくこ により一きわ盛上りを とする社会主義諸国や を印象づけられる展示 開発途上国の大量参加 二十カ国、参加企業は -五百社の多きに達し は、東欧各国を中心 年より八カ国ふえて 今回の国際見本市

ように見受けられた。

会期 会場

係ゼネストに禍いされ かったが、 たが、後半ゴール

の四十

で、

七日までの入場者総数 から、会期の終る五月 デンウイークに入って いう盛況振りであっ 後半ゴー

ぶりに変ってきている|場者の目をひいていた。

上、疲労度が少い等の優れた性能を に速度の増減と前後進ができる 持った製品であることから多くの入 ラーはレバーー トマチックの自動車のような具合 作業に何等の熟練を要しな 本の操作で、 恰もオ 森記— 0

=7型ダブルバイブ ョンロ 会の人々を関く三笠代理店を開く三笠代理店を開発が開発して、一つ説明を開く三笠代理店では、「一覧の展示場前にて

早速会場内の三笠小間前で本日

◎三笠新入社員 0 |第一部プログラムに予定されている 入社式挙行



人に接し 冒頭社長より、

/先輩社員と一緒に仲良くカメ 前列右四人目の女子社員より 協力の賜であり感謝 るところで、 の吉田常務より新製 るため最善の努力を 生産のオートメ化を 致します。当社も近 が遅れていることに この程、 笠製品をご愛用して ご迷惑をおかけした れひとえにご立派な との挨拶を行ない、 これはわが社の 値上げが早 永年 はかり、

品であるスロー 代理店各位のご 頂けるのも、 があって、終始一契い合いして、 験の結果など写一び合い、 入り、 引続き技術部長 傾ける所存です お埋め合せをす く工場の増設と 対し深くお詫び まったこと納品 にたえません。 最も誇としてい ザーさんに三 東北高速 皆様に

十分終了した。 一会は大成功裡に幕を閉じた。星野記 ーとデーラーとの心がしっかりと結 お互いの発展を約し合い、 和やかな三笠代理店

t 地 X 五月二十五日

部 三笠代理店会開

五十一社、輸出商社九社に報道関係北海道までの東日本全域から代理店 五月二十五日、関東甲信越東海以東 な恵まれた代理店会日和となった。 々しく開催された。 開催中の建設機械展を振り出しに賑 の方々が参加されて東京晴海埠頭で かり晴れ上り、初夏をおもわすよう 前夜の雨模様の天気も一夜で、 第十七回東部地区三笠代理店会は すっ 中で、 のレバーで遠隔操作 容易なこと、しかも タンパー(愛称ス 込んだご質問があり 員からそれぞれの新機種について突 四十八年度新製品 は、油圧駆動で無段 実演説明された。 MDR IS これに対して、会

というお声を耳にすることが出 持たれたようであり ど他機にない特長の 、これはいける 多いのに関心を が可能であるな 階の振動調節が ッパー)に就て 型・スロー パワーユニット 特に新製品の 来

に移し、 された。先ず京谷社長より日頃の格 にある東京シティ とともに、よく同業社から三笠は良 別なご支援に対し深 の懇談会が星野 息入れたのち、 に喉をうるおし、 いといわれるが い代理店さんを持た やがて一行は場所 昼食ととも 同所 部長 まっ たくその通 く謝意を表する 司会の下に開会 会議室で第二部 を中央区箱崎町 れてうらやまし ばしの歓談に一 に冷たいビール アーターミナル

た。今日の三笠の懸賞は長谷川

貴の花

会に挨拶する京 清国に軍配が上げられた。 られていたが、 のあいさつを述べれば、 ノ花・北の富士―清国の二番にか やがて打出し後、 その結果は、

| 議室に於ける懇談へ

表して吉沢原動機の吉沢社長さんか 料理を前に、老酒の杯が重なるにつ 銀座美人のサービスに座はすっ は切って落された。ほどなく現れた 務さんの音頭で乾杯して懇親会の幕 をいただき、更に報道関係を代表し くだけて、帝国ホテルご自慢の中 も祝辞を頂戴し、白勢商事の清水常 て工業時事通信社吉田編集次長から らご丁重なご激励とおほめのお言葉 第四部懇親会場の帝国ホテルへむ 急ピッチに酔がまわってメーカ 懇親会は先ず京谷専務が開宴 バスを連ねて、 代理店を代 かり 玉

帝国ホテルに於けるパーティ風景



( に三笠の懸賞をかけた一番 ( 蔵前国技館の夏場所大相撲好取組 場内の熱気は爆発寸前であっ 前日までの全勝力士・輪島の あ

優勝が決定するという好取組も 蔵前国技館に移り、 勝二敗の鷺羽山の勝負の結果によ 日目を観覧した。この日前日まで それからプログラム第三部の会場 大相撲夏場所十

鹿和里

1月2287011111 **在**410029永#郁

Mikasanews

さんの笑顔が印象的であった。

当日は午前中の社内会議に引き続 午後より記念式典に入り厳粛な

んだものに他ならず、

当日の三社長

細〇

兼産

(株)

個

見

本

市

展

催による、小型締固め機械実演会

機械に対する認識を深めると同時

大型機小型機等の組合わせ施

業であることを強力に印象ずけて 小型機も建設業界に於ける花型産カーだけあって、この日ばかりは

几

中

Ŧ

建

設

機械

秀な製品の開発と だきメーカーとし 他製品についても

この信条である優」よる省力化と作業の効率を計ろうと

する意気込みを強く感じられた。

地方課一喜多記

朝が早やか

した。又ユーザーの方々の機械化に

かなり質問をいた

に対する責任の

重大さを再認識 うことで、ユー

天候も上々で場所

社の協催により五月十二日から十五中国建設新聞社、建設興業タイムス

盛況であった。 含め六十数社に及び、

我社からはコンクリ

タンピングランマー、

第四回中国建設機械展示会は日刊

日の四日間、出雲大社横の大駐車場

うことでこの様な催をして、

小型

日本建設機械化協会関西支部主

### (株) 立 + 五周年記念 道 機 大阪

現場に於て盛大に行われた。従来 先の藤坂ハイッ宅造工事大成道路 は、四月六日(金)牧方市長尾町地

もっぱら大型ては、実演は

れた。特に、大手業者の大け密度の濃い展示会が行わけ密度の濃い展示会が行われていたが、それだ

において開催された。

鹿島建設等の現場

の展示会に於

た。しかし建 機が主であっ

賀式挙行

が参加されて、 中道喜治氏)におかれては、創立十社、大阪市西区靱二丁目五六、社長 我が社からは小野常務がお祝いに列 余の社員のみなさんと、多数の来賓 グランドホテルに於いて、 五周年記念祝賀式を五月四日、有馬 理店である株式会社中道機械へ我が社の近畿、中国、四国地区 同社は中道機械産業㈱(本社、 盛大に挙行された。 二百十名

挨拶する中道喜治社長有馬グランドホテルの式場にて

軽作業が、こ

55 型、

80型ランマー、

等きめの細い質問が多かっ 輾圧時の能力、仕上り具合 担当者が熱心に参観され、

プロコンパクター、 □52型、

70

在、従来手で

不足が慢性化

ている現

ては、労働力 設業界に有っ

# 昭和48年4月6日(金) 大成道路(株)藤坂ハイツ宅造 日本建設機械化協会関西支部

機械化が進 の分野にまで

の中で特に、

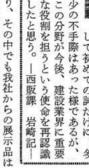
しかもこ

立っているに 機の普及が目 しているといの認識が不足 もかかわらず して、 大型機に比較 振動機系輾圧 使用者

が、いずい 目的で、 工による作業能力の効率化を計る カー9社、

いずれも実績を誇る代表メー 開催されたものである。 数こそ少な い

少の不手際はあった様であるが な役割を担うという使命を再認識 この分野が今後、 して初めての試だけに、 クターの実演には、アスフ =7型、11型ダブルローラ 小型機の実演会は協会と ルト仕上げの補助機とし であったが、特にコンパ 関心を寄せていた。 建設業界に重要 多





っており、

今後は省力化に頼

れている。又いずこも同様、 大きな需要地域として期待さ よる復旧工事が重なり今後の

人手不足の解消にやっきとな

るしかなく、

建設機械への関

子が伺えた。

又各出品メト

カー及び商社

心はユーザー各位の真剣な様

さるお客様も多かった。 あるものとして、足を止めて見て下 金物関係とは違う建設機械である為 当社からは80型、 会場内に於ては、ちょっと異色 70型バイプロコンパクタ 55型タンピング

ていこ。
ていこ。
を担うべく力強い意欲を見せ
を担うべく力強い意欲を見せ

三笠建設機械㈱

て引合いも多く、 連日休む間もない程であった。従っター等を展示し、お客様のご質問で ランマー、 に展示された三笠の制、後楽園ホールの五階、 軽便51型、 電直32型バイブレー ご注文も又多数頂 | 製品 | と会場 | り、

+

口 記

年に中道機械産業㈱より分離独立さ

中道機械産業㈱、中道機械㈱ 社名を㈱中道機械とあらため

鄭重なお礼の御挨拶があった。 対し感謝され、又来賓に対してもご

された。

メーカー約40社によって盛大に開催 の後楽園ホール5、6階に於て参加

プ三社で全国販売問とを、 タレー 「対機が鉄」 その後、

タレントによる演芸に打ち興 日頃の苦労を忘れて、 月に大阪に進出され、

昭和四十

Ħ.

n

京

の大阪支店として昭和三十三年

との決意のほどを披歴され、引続き

業㈱さんの個人見本市が、

東京都内

新潟県二

条市に本社のある細兼産

役に立つ企業に育てる覚悟である」

気のなかで中道社長より「私をはじ

うちにも、明るい希望に満ちた雰囲

め社員一同、今日を以って安んずる

期場間所

昭和四十八年四月二日~三日東京都文京区後楽園

ことなく、

誠実をモットーにしてお

社員の表彰並びに出先各店の業績に

(本社、

御兄弟愛がここまでの企業を育ぐく

これには中道三社の社長さん達の

たのである。

祈り

してやみません。

三笠建設機械

窪田記一

品物が数多く会場内に並べられてお 問屋さんの為に私達の日常関係ある

になられた。会場内の展示品は金物

今後の中道グループの御繁栄をお|様が入場され、展示品を熱心にご覧

行なって

東周辺の金物屋さんと多くの取引を 主体とした金物問屋さんで、特に関

細兼産業さんは長五郎印の刃物を

れ、系列会社として中道建物㈱、中

ループ三社で全国販売網を確立さし、夕刻よりの懇談会でなごやかな

刻を過した。

重工㈱等を擁した企業群になられ



くことができて担当者としては筆舌

3

できた。これも偏えに金物問屋の老 に表わしがたい感激を味わりことが

舗である細兼産業さんの お蔭と感謝

まいぞ





業者の方が三笠の知識につ だいた。管工事業界における 性能を発揮する2B型カッタ ので小廻りがきき運搬、 者が来場された。特に小型な 神奈川県全域に亘り管工事業 ある展示会となった。 引き出そうということで活気 気持で製品を運転出来、又見 特徴としてユーザーが自由な 終日盛況を極めた。展示会の ぐまれ連日多数の来客も有り 迄降り続いた雨も開会当日に 三笠製品の認識も高く多数の も容易でかつ大型機としての せることにより潜在購売力を 総入場者数二千名を越え、 についての質問を多くい 豊富 なことには感 すっかり上り、晴天にめ

## 移動 親和会旅行

四国「金比羅」を訪ねて うのおり

様、お姫様の気分を十間は、それぞれ、お殿場は、それぞれ、お殿場は、それぞれ、お殿場は、それぞれ、お殿場は、それぞれ、お殿場は、それぞれ、お殿場は、お畑が成の一歩をの新幹線で旅の一歩を い雲はあったが、まの空を見上げると、 と心配 予定 分に 50 まずの それぞれ、 お殿|場等を見ながら大阪へ着いた。 型り、次の目的地 おわったようだ。 日 時三〇分東京発 あったが、まず ある日本庭園の|高速道路に入り、 左に 六甲の山な お天気になりそ しながら、早朝 重 間お世話になった車とも大阪駅でお み、右にメリケン波止場、甲子園球 いよいよ旅も終りに近づいた。車は

夜行寝台で帰京の途につい

二日

天気はどうかな 八日(金)、きょ



### 念 管 I 事 機 械 展 示 永井記 会 庫五〇〇。町、 五〇㎡、

工場

七〇元、

車庫一

川県水道工事協同組合の主催によ 四月六日(金)から三日間、神奈|に開催された。 約20点の出展により、にぎや、約20点の出展により、にぎや、出品社数45 第十回記念管工事機械展示会が にぎやかして製作した2B型カッター パクター、 80型タンピングランマー、 械産業㈱横浜営業所のご協力により を出展しPRに努めた。前日 そして管工業者を対象に 我社からは、 70型コン

中道機|五t電動走行クレ の3点 て来る時期に於て、 売で地道な業績を上 はリー 性能試験場で、 でもご自慢は本格的な水中ポンプの に今後益々発展され 中野所長の卓越した 備といえる。 械があらゆる部門と いスペースをとられ、倉庫には ス部も着実に 営業事務 当社で 仙台出張所—長畑報-一誠に当を得た設にわたり要求されの先東北の建設機 上げられ、さらに □二階建一六○㎡ 経営方針のもと ンを設備し、 る事と確信しま は建設機械の販

中路島へ渡った。大磯発のカーフェリーはの出る思いだった。うず潮を後に淡 もあり、 を登り、 洋側と瀬戸内側の水位は一メー ーで須磨に渡り、 を見ることは出来なかったが、 た。丁度潮は小瀬に当り大きならず トルの狭い瀬戸に起るうず沙を観し た。四国と淡路島の約一四〇〇メー の地屋島まで快適なドライブで過し し早めに旅館を出発し、源平ゆかり ことなく本宮までの七八五段の階段 詣ではあったが、一 六月九日(土)、 さすが鳴門のらず潮と溜息 想い想いに願かけした。少 四国ともお別れし 早朝よりの金比羅 人として欠ける 太平

## 関心も強く予想以上の受註が フレキシブル水中ポンプへの 心が多く現場における実演要 山陰地区は今や発展途上に 同じく3 E型 の関

求が相次いだ。

# 者数は実に一二、〇〇〇名の大台に を持っていただいた。のご来場をいただき、期間中の入場 演宣伝に努めた甲斐あって大変関心県はもとより遠く山口県からも多数 クターの他、精鋭機種を出品し、実率い快晴に恵まれ、島根県、鳥取 クリートカッター、バイブロコンバ 5、予想を上廻る ートバイプレ コン

は場所で敷地二、

仙台バイバスに面|道フェリーに乗り、 三二言と耳多近、市扇町三~四~二 阪)では今春仙台 五〇〇。前、建物倉 こており交通至便 見ながら、 に営業事務所、 業所(本社大 山中産業㈱仙台|である鷲羽山へと向う。

茶所は国道四号線|界がきかず残念だった。宇野より国 れました。新営を走ったが、折角の景勝地も余り視場、倉庫を新築に、左に、見ながらドライブウェー いわれる、 事上陸して栗林公園へ立寄った。と ットしたお昼寝の時間になってしま |った為か、後楽園でのそぞろ歩きが なごみ、愉快な隠芸も飛び出し、宴により乾杯が終ると、早くも会場は 社長の欠席のまま、 ったようだ。 も酣なころ、あわ踊りで大いに楽し 開らかれ、専務の挨拶、 と急いだ。夜は、 今夜の宿となっている「とらや」 心ちよい気持ちを与えたのか、 小堀遠州流の粋を集めたと 四国の玄関ロ、高松へ無 純日本式庭園を散策し、 水島工業地帯を、 恒例の懇親会が一時間程遅れて、 瀬戸内の島々を 常務の音頭 チョ

(からなった仙台営業) (中野所長と新装)

あり、

工事量も相当かかえて

いるところへ昨年の風水害に

あった。